
環境報告書 2012

2012年3月期



NEC ネットエスアイ
NEC Networks & System Integration Corporation

[目次]

1. 環境報告書発行にあたり	2頁
2. 会社概要	3頁
3. CSR方針・環境方針	4頁
4. 環境マネジメントシステム	5頁
5. 環境負荷(マテリアルバランス)	6頁
6. 2011年度の活動	7頁
7. 法順守状況・内部監査・環境会計	8頁
8. 環境目的・目標と実績	9頁
9. 生態系・生物多様性の保全活動	10頁
10. 数値データ	11頁

本報告書の対象範囲

対象期間: 2011年4月1日～2012年3月31日(数値データ)

対象組織: 全組織(海外および連結子会社を除く)の環境管理活動を対象としています。
組織図等、一部、最新のものを掲載しております。

対象事業所: 本社および首都圏5事業所、4支社、13支店、29営業所

環境に関するホームページURL: <http://www.nesic.co.jp/csr/environment.html>

環境報告書発行部門/お問い合わせ先:

NEC ネットエスアイ株式会社 CSR推進部 環境推進グループ: 03-6699-7004

発行責任者: 執行役員 深谷 祥一

編集責任者: CSR推進部長 畑間 直治

報告書発行日: 2012年 8月31日 [次回発行予定]2013年 8月末日

1. 環境報告書発行にあたり

2012年8月

執行役員 深谷 祥一



昨年は、3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う原子力発電所の事故、また、タイでの未曾有の大洪水により、多くの方々が被災され、企業も多大なる打撃を受けました。これらがもたらした影響により、今後のエネルギー需要や事業継続性の側面から、より大きな視点での取組みを検討していく必要があると考えております。

当社は、2010年10月に文京区内(飯田橋ファーストタワー内)に本社を移転致しましたが、その際、当社が提供するEmpoweredOffice(オフィス改革)ソリューションを全フロアーに導入し、省エネ、省資源(ペーパーレス)、省スペース効果を最大限に引き出すため、様々な対策を施したオフィス環境を実現いたしました。なかでも、働き方を変え、スペースのムダをなくす“スリムオフィス”やICTを活用した“スマートワーク”、書類の電子データ化やデジタルサイネージでの情報伝達・通知による“ノーペーパー・ワーキング”などは、従来の事務机やオフィス内の文書保管キャビネットの廃止に繋がり、震災時、全執務フロアーにおいてほとんど影響を受けることなく、継続して業務遂行することができました。これにより、EmpoweredOfficeは災害にも強いオフィスであることを実証いたしました。

当社は、働き方の改革を通して抜本的なコスト改革や省エネ、事業継続性向上のための仕組みづくりに力を入れるとともに、これまでも増して地球温暖化問題を意識し、低炭素社会の実現に向け、EmpoweredOffice(オフィス改革)ソリューションをはじめ、環境・省エネソリューションの提供、温暖化防止施策を実行し、CO2排出削減に貢献してまいります。

本報告書は、2011年度の当社における「環境への取組み」を取りまとめております。このような活動をベースに、当社は、これからも更なる情報提供およびコミュニケーション機会を充実させ、誠実で信頼されるネットワークSierを目指してまいります。

今後とも、NEC ネットズエスアイをよろしくお願い申し上げます。

当社CSRホームページ

<http://www.nesic.co.jp/csr/index.html>



2. 会社概要

会社概要

商号 NEC ネットズエスアイ株式会社
 英文商号 NEC Networks&System Integration Corporation
 設立 1953年11月26日
 資本金 131億22百万円(2012年3月31日現在)
 本社所在地 東京都文京区後楽2-6-1
 HPアドレス <http://www.nesic.co.jp>

事業内容

ネットワークをコアとするICTシステムに関する企画・コンサルティングや設計・構築などの提供、および国内300ヶ所以上のサポートサービス拠点による24時間365日対応の保守・運用、監視サービスならびにアウトソーシングサービスの提供

国内ネットワーク

2012年7月1日 現在

支社 4 ネットワーク-外-タルオペレーションセンター 2
 支店 13 サービスセンター 21
 営業所 29

沿革

1953年11月 日本電気工事株式会社 設立
 1980年12月 商号を「日本電気システム建設株式会社」に変更
 1983年12月 東京証券取引所第二部へ株式上場
 1990年 7月 技術研修・研究施設として神奈川県伊勢原市に伊勢原テクニカルセンターを開設
 1992年 9月 東京証券取引所第一部銘柄に指定
 1993年 7月 本社を東京都品川区に移転
 1999年 7月 ISO14001認証を取得
 審査機関(株)日本環境認証機構
 2005年10月 商号を「NEC ネットズエスアイ株式会社」に変更
 2007年 4月 NECテレネットワーク株式会社を経営統合
 2007年 7月 ISO14001認証範囲を変更し、NECテレネットワーク株式会社のISO認証を統合
 2007年 7月 企業向けトータルオフィスソリューション「EmpoweredOffice」を事業化
 2008年 4月 (株)ニチワ(兵庫県神戸市)を関係会社とする。
 2008年 4月 東京都内に総合オペレーションセンターを開設。
 2008年11月 東京都内に統合デリバリー・オペレーション・センターを開設。
 2010年10月 本社を東京都文京区に移転。
 2010年12月 第一アドシステム(東京都渋谷区)を関係会社とする。
 2011年10月 東証における当社株式所属業種が変更
 (「建設業」から「情報・通信業」に変更)

経営関連情報

決算年月	2008年3月	2009年3月	2010年3月	2011年3月	2012年3月
[連結経営指標]					
売上高(百万円)	258,212	249,070	217,727	217,948	204,658
経常利益(百万円)	10,423	11,211	10,125	10,931	9,570
従業員数(名)	5,817	5,906	5,998	5,939	5,936
[単独経営指標]					
売上高(百万円)	237,893	225,943	196,620	198,838	183,411
経常利益(百万円)	10,174	10,504	9,447	10,900	9,080
資本金(百万円)	13,122	13,122	13,122	13,122	13,122
従業員数(名)	4,228	4,154	4,282	4,344	4,393

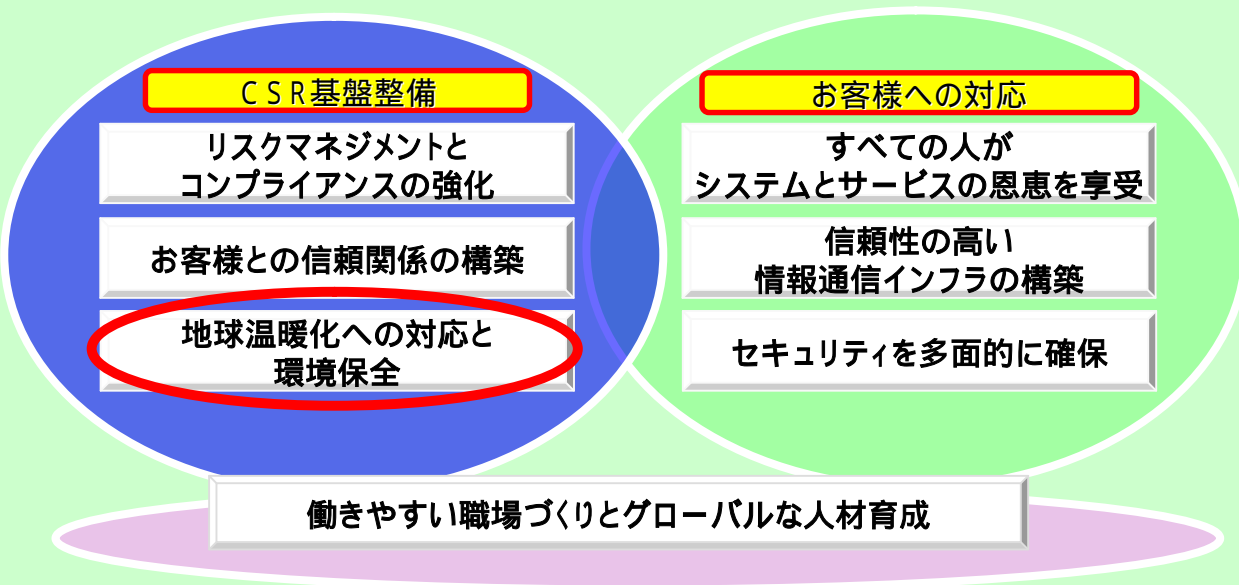
3. CSR方針・環境方針

CSR方針

コンプライアンスを最優先し、事業活動を通じて社会の課題解決に取り組み、健全な収益の向上を図り社会へ還元することにより、各ステークホルダーとの信頼関係を構築します。

当社が取り組んでいる7つのテーマ

当社を取り巻くステークホルダーおよび社会にとって、重要な課題やニーズを明確にし、優先的に取り組む7つのテーマを選定しました。



環境方針

代表取締役執行役員社長

和田 雅夫

基本理念

NEC ネットエスアイは、情報化社会のシステムインテグレーターとして、従業員等が「地球にやさしい事業活動」に取り組み、環境と調和する企業を目指し豊かな社会の実現に貢献します。

行動指針

NEC ネットエスアイは、環境との調和を経営の重要課題の一つとして、社員一人ひとりが、以下の環境保全活動を推進します。

- (1) 情報通信システムのコンサルティングから企画、設計、資材調達、ソフト提供、施工、保守運用までをインテグレートする活動、製品およびサービスの全領域において、環境に影響を与えていることを認識したうえで、技術的・経済的に可能な限り環境の向上に努める。
- (2) 環境汚染を未然に防止するとともに、継続的な改善をはかる。
- (3) 環境関連法令、協定およびその他要求事項の遵守、環境に影響を与えるおそれのある活動、製品およびサービスを管理する。
- (4) 環境方針に基づく管理活動を展開するにあたり、年度目的・目標を定め、活動、製品およびサービスの各段階で省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減、生物多様性の保全などを推進する。かつ、その施策を環境マネジメントプログラムの中で実行し、改善をはかる。
- (5) 環境方針を文書化し、従業員等へ周知するとともに、環境マネジメントシステムにより実施し維持する。
- (6) 環境方針は、広く公開するとともに、地域社会に貢献する。

制定 1996年3月1日

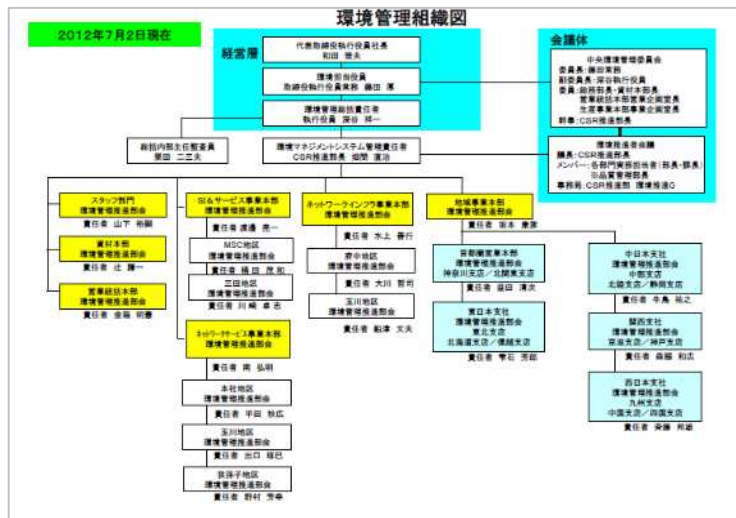
改定 2012年4月2日

4. 環境マネジメントシステム

運営体制

当社は、環境管理を経営の最重要課題の一つとして、環境管理推進のためのしくみ・体制を強化しています。具体的には、中央環境管理委員会(委員長:環境担当役員)において、全社の環境戦略・方針を審議、決定し、重点課題に対するフォローアップを行っています。また、下部機関としてCSR推進部長(環境マネジメントシステム管理責任者)を議長として環境推進者会議を毎月開催し、環境管理活動を推進しています。

環境管理組織図
2012年7月現在



ISO14001 認証状況

当社は、環境マネジメントシステム「ISO14001」を1999年7月28日に認証取得しました。2011年度は、11月7日～11月16日間に更新審査(ISO9001との複合審査)を受審し、「ISO14001:2004規格に基づく環境マネジメントシステムが継続して有効である」と判定されました。

- 1 審査機関 (財)日本品質保証機構(JQA)
- 2 登録日 1999年12月17日
- 3 有効期限 2014年12月16日
- 4 登録証番号 JQA-EM0640
- 5 登録事業者名
NEC ネットズエスアイ株式会社
東京都文京区後楽2丁目6番1号



関係会社認証状況

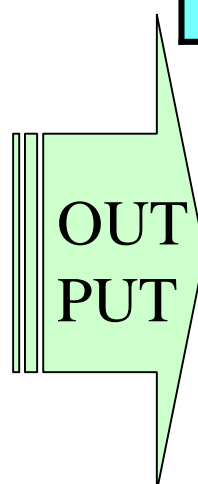
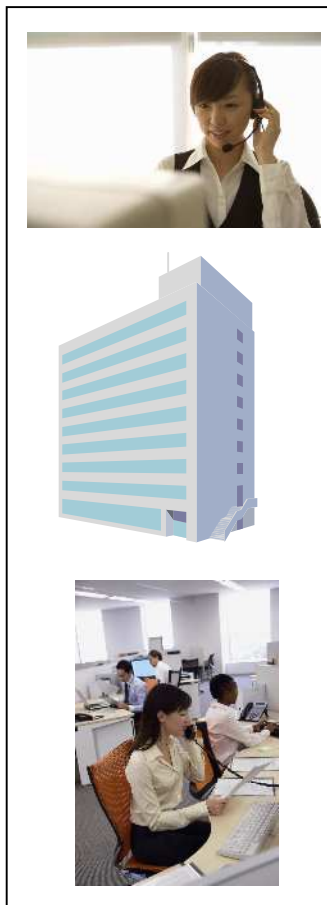
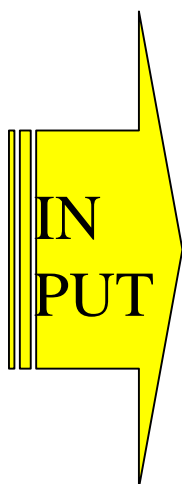
会社名	審査機関
ネットズエスアイ東洋(株)	DNV
トーヨーアルファネット(株)	DNV
(株)ニチワ	JQA

DNV: デット ノルスケ ベリタス エーエス DNV ビジネスアシュアランス ジャパン

5 . 環境負荷

事業活動

電気 9,980,200 kwh
重油他 44 kl
ガソリン 312,117リットル
水 38,144m ³
紙 84,189 kg
化学物質 5,000 kg



CO ₂ 排出量 5,116.28トン

廃棄物
発生量 1,290トン
リサイクル量 1,189トン
最終処分量 101 トン

凡 例	INPUT	OUTPUT
	<p>電気: オフィスで使用した電力消費量</p> <p>水 : オフィスで使用した上水道消費量</p> <p>紙 : オフィスで使用したコピー用紙消費量</p> <p>化学物質: 鉛はんだ、塗料、接着剤等</p>	<p>CO₂排出: 電力、都市ガス等エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素発生量</p> <p>廃棄物発生量: 一般廃棄物 + 産業廃棄物の総量</p> <p>リサイクル量 : 廃棄物を再資源化した総量</p> <p>処分量: 廃棄物を焼却処分または埋立処分した総量</p>

6. 2011年度の活動

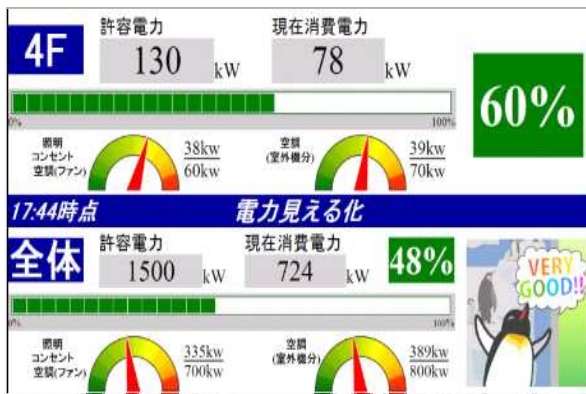
本社全フロアにおけるEmpoweredOfficeの強化

2010年10月に本社を品川から飯田橋に移転し、全フロアーにEmpoweredOffice(オフィス改革)ソリューションを導入しました。その後も新たな環境・省エネソリューションを適用し、EmpoweredOfficeは進化し続けています。

iPad(TM)などのタブレット端末を活用した会議ソリューション(SmoothMeeting: スムースミーティング)を導入し、これまで会議で使われていた紙資料を電子化し、タブレット端末で参照することで会議前の準備や会議後も保管・検索等が容易になり、会議の効率化やペーパーレス化に貢献しています。



また、全フロアにデジタルサイネージを設置して電力使用量をリアルタイムに投影し、従業員に対して省エネルギーに向けた意識改革を促進しています。



許容電力の100%を超えると、パイロットランプが光り、ブザーが鳴ります。

地球温暖化防止対策

当社は「J-VERクレジット」の調達によって地球温暖化防止・生物多様性の保全・国内林業再生・被災地支援に貢献しています。これにより、本社食堂の厨房で排出するCO2の一部(10トン)を削減しています。

大館北秋田間伐促進事業
(震災復興支援プロジェクト)



さらに、「グリーン電力証書」を活用し、本社食堂の厨房で使用する電力の一部(24,000Kwh)を太陽光で発電されたグリーン電力でまかっています。これは、年間で約9トンのCO2削減効果があります。



7. 法順守状況・内部監査・環境会計

法順守状況

「法規制の順守」は経営の最重要事項であり、従来より企業倫理の社内体制の整備や啓発活動を推進してまいりました。

その中で、2010年度の本社移転の際に、より正確にエネルギー使用量を把握すべく適正な見直しを行いました。

また、廃棄物管理に関しても、マニフェスト管理および行政報告、廃棄物処理会社現地確認などを計画的に実施致しました。

このような活動の結果、事業所周辺環境に重大な影響を与える事件・事故や環境関連法令違反、行政指導等はありませんでした。

内部監査

2011年度は、2011年7月5日～2011年10月26日の間、20サイトの内部監査を実施し、その結果は以下の通りです。内部監査の結果は、環境管理総括責任者に報告され、マネジメントシステムの改善等を実施致しました。

監査実施サイト数	評価できる点	重大な不適合	軽微な不適合	観察事項	要望事項
20サイト	36件	0件	3件	19件	40件

環境会計

2011年度の集計結果は以下の通りです。

(千円)

大分類	中分類	小分類	投資額	費用	経済効果
事業エリア内コスト	地球温暖化防止	地球温暖化防止対策	1,000	4,986	32,489
	資源有効活用	資源有効活用	0	0	7,079
	資源循環活動	廃棄物処理費用等	0	30,288	0
	リスク対応	遵法対応・化学物質管理	0	360	0
上・下流コスト	環境配慮型製品設計	環境配慮型製品設計	0	300	0
管理活動コスト	管理活動	環境活動に関わる人件費 ISO維持・環境監査費用	0	43,818	0
研究開発コスト	研究開発	研究開発に関わる費用	0	0	0
社会活動コスト	社会活動	社会貢献・情報公開	0	5,158	0
環境損傷対応コスト	その他	その他	0	0	0
合計			1,000	84,910	39,568

8. 環境目的・目標と実績

2011年度の主な取組みと成果

	環境目的・目標	2011年度 計画	2011年度 実績	評価	前年対比
1	産業廃棄物リサイクル率向上	90%	91%		5%向上
2	一般廃棄物リサイクル率向上	100%	100%		100%維持
3	電力消費量削減 (1) 前年度実績対比 1%削減	(MWH) 6,421	(MWH) 6,265		3%改善
4	コピー用紙購入量削減 前年度実績対比 10%削減	90トン	84トン		16%削減
[事業を通じた環境改善(エコソリューション)推進]					
5	環境配慮型製品(エコシンボル製品) 販売促進	95台	103台		7台増
[意識改革]					
6	NEC環境意識調査 (2) “エコ・イクセレンス層 60%以上”	99%	100%		1%向上
[自動車対策][物流対策]					
7	エコドライブ推進による 平均燃費の向上(km/ℓ)	15.0	15.1		0.4km/ℓ 向上
8	首都圏仕立て便積み合せ件数向上 1台当り配送件数向上により、 物流における環境負荷低減	2.50	2.56		10%向上

1: 電力消費量

2011年度から江坂オフィスサービスセンターのマシン室の原単位を見直し、PUE管理を開始いたしました。そのため、上表より江坂オフィスサービスセンターマシン室の電気使用料を除いております。

2: NEC環境意識調査

NECグループでは、環境と調和した持続可能な社会を構築するために、社員ひとり一人の環境意識向上のため、これまで年1回全社員を対象に環境意識調査を実施しております。

2011年度の主な取組み

指標	取組み
地球温暖化防止	電力使用量削減、社有車両のエコカー導入とエコドライブ推進、物流の環境負荷低減、産業廃棄物のサーマルリサイクル実施によるリサイクル率向上、改正省エネ法対応(定期報告書・中長期計画書作成、届出)
資源有効利用	デジタル複合機による紙情報の電子化、ペーパーレス会議の実施推進、環境大臣より産業廃棄物広域的処理の認定を受け、NEC製情報通信機器(パソコン、コンピュータ、通信機器など)の回収・リサイクルを行っています。
エコソリューション推進	オフィス改革省エネ・ペーパーレスソリューション「Empowered Office」推進
人材育成・意識啓発	環境意識調査実施による高環境意識層の拡大、「自然体験型プログラム」実施による環境保全意識の向上

9. 生態系・生物多様性の保全活動

当社は、NECグループ生物多様性保全行動指針に則り、生物多様性が持続可能な社会にとって重要な基盤であるという認識のもと、事業活動や従業員の生活が及ぼす影響を出来る限り少なくしていくとともに、生物多様性に貢献する従業員の活動や、ITソリューションの提供を積極的に推進しております。

また、従業員の生物多様性保全への理解を深め、意識を高めることにより、従業員や会社や家庭において主体的に生物多様性に配慮した行動が行えるよう、環境意識啓発を行っています。

生息環境保全講話と味噌作り体験

当社は、2012年2月25日にNEC我孫子事業場において、生物多様性保全のイベントをNECと共催致しました。

第一部は、事業場内の四つ池に生息する絶滅危惧種(オオモノサシトンボ等)の生息環境保全や東葛地区で見られる珍しい昆虫について有識者からご講話を頂き、第二部は、NEC田んぼつくりプロジェクトで収穫した米と大豆を使用した味噌作り体験を実施致しました。

事業場内の生態系との係わりを実感し、環境保全の必要性について、意識啓発を行いました。



地域環境社会貢献

・中部支店 「クリーン・キャンペーンin名古屋だがねI～」

～みんなで拾おう！みんなで支えよう！～のメッセージのもと東日本大震災で被災された方々を支援する義援金システムを組み込んだ、全国各地で開催されているクリーン・キャンペーンの名古屋東山の森イベントに参加しました。



・静岡支店 「静岡河川清掃ボランティア」

環境美化ボランティア活動により、静岡市内にある安倍川・藁科川・興津川における河川敷等のごみを取り除き、美しい河川を作ると共に、環境学習に生かしたり、川に愛着をもったりしてもらえるような、静岡市主催の取組へ参加しました。



[数値データ]

	単位	2009年度	2010年度	2011年度
電気(2009年度から対象見直し) 1	KWH	9,662,125	10,356,091	9,980,200
電気(空調推計分)	GJ	56,765	47,605	34,316
都市ガス(2010年度上期まで使用) 2	m3	(185,950)	(89,893)	
灯油(2009年度から追加)	kl	21	21	23
A重油(2009年度から追加)	kl	22	20	21
CO2排出量	t・CO2	6,174	5,631	5,116
ガソリン	リットル	300,467	316,942	312,117
水	m3	57,021	44,365	38,144
コピー用紙	kg	117,150	99,964	84,189
産業廃棄物発生量 3	トン	2,331.98	2,078.48	1,211.39
一般廃棄物発生量 4	トン	191.51	194.51	78.53
廃棄物発生量	トン	2,523.49	2,272.99	1,289.92
産業廃棄物リサイクル量	トン	2,137.10	1,793.29	1110.60
一般廃棄物リサイクル量	トン	191.51	194.51	78.53
廃棄物リサイクル量	トン	2,328.61	1,987.80	1189.13
産業廃棄物処分量	トン	194.88	285.19	100.79
一般廃棄物処分量	トン	0.00	0.00	0.00
廃棄物処分量	トン	194.88	285.19	100.79
廃棄物リサイクル率 5	%	92.3	87.5	92.2

- 2010年10月の本社移転後は空調エネルギーを都市ガスから電気に変更しました。そのため、2010年度の電気消費量は前年度より増加していますが、それまで本社で使用の都市ガスは電気消費量(空調推計分)に含めて計算しているため、全体の電気使用量は削減しています。
- 都市ガス消費量(カッコ内の数値)は、電気消費量(空調推計分)に含めて計算しているため参考値です。
- 産業廃棄物発生量は、現場工事扱い量の減少に伴ない減少傾向にあります。
- 2010年度の一般廃棄物発生量は、本社移転に絡む書庫整理等により若干増加しました。
- 2009年度のリサイクル率は、がれき類の発生が多かったため例年に比べ高くなりましたが、2011年下期から塩ビを含む廃プラのサーマルリサイクル化により飛躍的に改善しつつあります。

NEC ネットエスアイ株式会社

〒112-8560 東京都文京区後楽2-6-1

発行責任者 執行役員 深谷 祥一

編集責任者 CSR推進部長 畑間 直治

発行 2012年 8月31日

問合せ先 CSR推進部 環境推進グループ

TEL (03)6699-7004